



【自衛隊札幌病院創立64周年記念行事】

令和元年6月7日

自衛隊札幌病院(病院長:大鹿陸将)は、6月7日(金)、自衛隊札幌病院創立64周年記念行事を挙行了。大鹿病院長は式辞で「自衛隊札幌病院は北海道唯一の自衛隊病院であり基幹病院であることを改めて自覚し、良質な医療の提供のみならず、各種衛生支援や教育訓練環境の提供など多種多様な役割を果たしていかなければならない」と述べ、一人ひとりが日々成長し、病院機能の向上に努めていくことが不可欠だと述べた。行事にあわせて実施した感謝状贈呈式では、病院長から各種行事等に対する積極的な支援・協力を実施して院務運営に寄与するとともに豊友会(自衛隊札幌病院OB会)会員と病院職員との融和親睦に多大な貢献をされた、豊友会副会長 千葉 三枝子氏に感謝状が贈られた。なお、当日は欠席されたが、日頃の院務運営のご支援に対し、札幌医科大学 成松 英智教授、札幌市医師会南支部長 林下 忠行先生にも後日、感謝状が贈呈された。

9日(日)には、札幌市内のホテルにおいて札幌医科大学 鳥越 俊彦教授による「がん免疫病理学による個別化がん治療の展望」と題した記念講演会を行い、ご自身の自衛隊札幌病院での勤務経験やアクセルとブレーキに例えた免疫の話など専門知識がなくてもわかりやすい内容で聴講者約130名の理解を深めた。

記念講演会に引き続き、豊友会主催による記念祝賀会が開催され、盛況のうちに終了した。



感謝状贈呈後の記念撮影



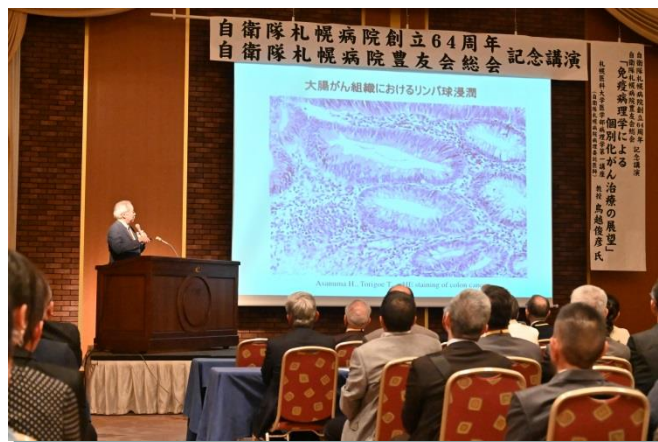
記念式典



執行者式辞



創立64周年を記念して人文字撮影



鳥越俊彦教授による記念講話



聞き入る聴講者



大鹿病院長による花束贈呈